

# 自己評価結果公表シート

作成 堀東幼稚園

## 1、本園の教育目標

- 温かいふれあいの中で、心身の調和した発達の基礎づくりに努める。(健康な身体づくり)
- 自分を伝え、相手を理解する為の、表現する意欲や想像力を育てる。(挨拶の重要性)
- 身近な事象への興味や関心を持ち、豊かな心情や思考力をつちかうようにする。(脳の活性化)
- 体験を通して、豊かな感性と想像性を育てる。(知識・感性の体得)

## 2、令和4年度、重点的に取り組む目標・計画

- より良い幼児教育を目指す為に;
- コロナを含む流行り病においての健全なる園運営[継続]
  - 子供達の安全、健康の徹底、並びに体力の向上[継続]
  - より良いサービスの追求(長期休暇時の預かり保育等)

## 3、評価項目の達成及び取組状況（令和4年度）

評価項目	取組状況
私学助成園として継続するのか否か？	C 令和4年度は私学助成園として継続し、令和5年度も継続したら、惨憺たる結果を得た。 私学助成園として当園は認められていない事を鑑み、令和6年度より新制度幼稚園に移行する。
コロナウイルスに関して	B 園児、教職員共に年間通じて感染者はなかった。 ただ、行事に関しては神経質になり、実施しなかった行事もあり、数年間出来なかつた遠足を3月に園児のみで実施した。
子供達の安全(怪我回避)並びに体力・能力低下の歯止めに関して	A 大きな怪我や病気をする子供はいなかつた。 園児数が少ない分、個別に丁寧に関与する事が出来たからだと思う。
ネット関連に関して	C 出来るだけの対策並びに広報は出したが、費用に対して全く効果は無かつた。 次年度はお金をかけずに宣伝広報活動をする。
人材確保に関して	B 欠員や補充の必要の無い1年だった。 幸いにも令和5年度の人材は確保出来た。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果（令和4年度）

C 職員会議、役員会、並びに行事前の打ち合わせ等で、各学級の内情を把握し、目標や計画を達成する事が出来ていたが、園児確保に関してはおざなりになっていたと言わざるを得ない。

#### 5、今後取り組むべき課題（令和5年度）

課題	具体的な取り組み方法
ネットを含む広報を考え直し、実行する	YouTube、インスタグラム、LINE 公式アカウントは起動中。 情報誌等の広報を控えその分、駅・市役所の掲示に重点を置く。 後、元役員さん達の協力を得て、月に1回の園庭開放（体験保育）を実施する。
新規人材の確保 [継続]	幸いにも良い人材を確保出来ている。 引き続き、教育実習やインターンを積極的に受け入れる。 人材紹介会社等を介する場合は、粗悪な人材回避の為に、条件を厳しくする。
無駄を省く（園外園地売却等）	令和5年度以降、健全に園を運営する上でほぼ未使用の園地を売却し、良い条件で早急に売却する。 未使用又は壊れた状態の物を廃棄又は修理をし、身軽になる。
新入園児確保	令和5年度の総園児数は過去最低記録を樹立。 私学助成では到底やっていけないと判断したので、新制度園に移行する。コロナを理由に、実施していなかった行事等も復活させる。説明会や体験保育等も積極的に実施し、新入園児確保に努力する。

#### 6、学校関係者の評価（令和4年度）

C 私学助成園として継続した事が間違いだと気づき、令和5年度の1年間は忍耐の1年になるが、そこを耐え抜き、令和6年度に良い状況にもっていけるよう、共に精進したい。

#### 7、財務状況（令和4年度）

C 公認会計士の監査で特段指導を受けていないが、是正は考慮しなければならない。